

学校長より

袖ヶ浦市立長浦中学校
校長 小川 幸男



夢に向かって チャンス チャレンジ チェンジ

長浦中学校の30年度の学校教育目標は「未来を拓く 確かな学力と心身共に逞しい生徒」の育成です。

みなさんが社会で活躍するころの未来は、現在とは比べようもないほど変化の激しい時代です。その時代を自ら切り拓くためには、学力と苦しさや困難さを乗り越える逞しい心と体力を身につけることが必要であり、その力を備えた生徒を育てたい、という願いです。ここでいう学力とは単なるテストの点数だけではなく、身に着けた知識とその知識を活用する能力、さらにより高い目標に向かって学習する意欲をも指します。ですから、授業に真剣に向かう態度を最も重要だと考えます。やる気がすべての基本となるからです。

スローガンは「夢に向かって チャンス チャレンジ チェンジ」です。今までに何度も話しましたが、私たちの周りには自分自身を高められるチャンスがたくさんあります。中学校生活のスタートである今日もそうです。担任の先生や友との出会い。体育祭、合唱コンクールなどの行事、部活動、陸上駅伝練習、清掃、授業、テスト、委員会活動、毎日の生活もそうです。その一つ一つを、自分を高めるチャンスとして前向きに捉え、夢や目標を決め、達成に向けて積極的にチャレンジしましょう。その先には必ずチェンジ成長した自分がいるという意味です。例えば、何かの係やリーダーに立候補することもチャレンジです。失敗を恐れず勇気をもってください。初めからうまくいくことばかりではありませんが、失敗したり、悩んだりしながらも最後までやり遂げる。これがチェンジ成長することにつながるのです。

昨年度の修了式で学校の階段という話をしました。「夢や目標に向かって、一段ずつ階段を上るように成長しよう。」という話です。はじめから、どうせ無理だと上るのをあきらめず、まずはチャンスを見つけ、積極的にチャレンジしてください。そうすれば必ず自分をチェンジできます。また、以前ABCの法則という話もしました。「当たり前をバカにしないでちゃんとやる」という話です。生徒会長の横瀬君が三送会や卒業式の翌日の集会で話した「挨拶」「授業」「時間」に加え「提出物」や「身だしなみ」・周囲の人への「思いやり」、「係の仕事」など当たり前をしっかりちゃんとやるようにしましょう。

昨年度の卒業式で皆さんが卒業生のために歌った別れの合唱、心のこもった本物の歌を聞かせてもらいました。みなさんから心を込めることの大切さと本物の凄さを学ばせてもらいました。そこで、今年の長浦中学校は全ての活動に心のこもった本物の学校、また当たり前のことを当たり前でできる学校、そんな学校創りにチャレンジしたいと思います。今、長浦中学校はどんどん素晴らしい学校にチェンジしています。また、みなさん一人一人もどんどん成長しています。新二、三年のエネルギーあふれる活躍が今から楽しみです。

私は、この長浦中学校を卒業した後、初めて校長として母校に戻りましたが、当時から今も長浦中学校が日本一大好きです。先生方とともに、一緒に日本一の学校を目指して頑張りましょう。